



楽しく子育て!

～香川県立図書館 子育て支援コーナー通信～

第162号

発行日

2021年2月19日

毎月19日は、「かがわ育児の日」



★司書のオススメ本 ～2月の新着図書から～

『子どもが喜ぶことだけすばしい』

佐々木 正美／著 ポプラ社／刊 2021.1



児童精神科医の佐々木正美先生の子育てに関するメッセージ集です。先生からのメッセージは、子育て中の親にとって、どれも暖かい励ましの言葉で、とても心に響きます。「子どもを過保護に育てた方がいいの?」と思ってしまうタイトルも、本書を読むうちに納得できますよ。

『ゆーママのはからない家おやつ

計量スプーンと計量カップで作る楽ちんレシピ55』

松本 有美／著 KADOKAWA／刊 2021.1



忙しいお母さんには、うれしいことに、お菓子作りの面倒な工程を全部省いたレシピ集です。はかりはもちろん、オーブン、お菓子の型も使わない上に、粉をふるう工程も省いています。

これなら家事の合間にもできそうですよね。お子さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。

<2月の新着図書～ほかにもこんな図書が入りました～> () は棚番号と内容です。

(支援1-2 妊婦の食事)

・『妊娠中のラクうまごはん』

伊東 優子／監修 マイナビ出版／刊

(支援1-3 出産)

・『帝王切開で出産したママに贈る30のエール』

細田 恭子／編著 中央法規出版／刊

(支援2-3 子どもの目)

・『子どもの目の病気事典』

星合 繁／著 幻冬舎メディアコンサルティング／刊

(支援2-5 子育て支援)

・『育てにくい子の家族支援』

高山 恵子／著 合同出版／刊

(支援3-1 コーチング)

・『こどものメンタルは4タイプ「やる気を引き出す」「自信がみなぎる」言葉がけの教科書』

飯山 昶朗／著 大和書房／刊

(支援3-3 子育てヒント)

・『自分で学べる子の親がやっている「見守る」子育て』

小川 大介／著 KADOKAWA／刊

(支援4-2 赤ちゃんと遊ぼう)

・『すぐできる0・1・2歳児の手あそび&ピアノ伴奏』

阿部 直美／編著 中央法規出版／刊

(支援5-1 特別支援教育)

・『子どものことばが遅い出ない消えた「なんで?」』

鈴木 昭平／著 コスモ21／刊

●県立図書館の子育て支援コーナーの図書は、県内のお近くの市町図書館等から取り寄せができます。詳しくはお近くの公共図書館へご相談ください。

県内図書館 子育て支援コーナー訪問

～第16回 高松市香川図書館～

このコーナーでは、香川県内の図書館の子育て支援コーナーや子育て支援関連行事を紹介しています。

今回紹介する「高松市香川図書館」は、香川町の龍満池の南側にあり、香川総合センターや高松市立川東小学校に隣接しています。2階が主に児童図書コーナー、3階が一般図書のコーナーになっています。

図書館の蔵書冊数は約16万8千冊で、そのうち児童書が約4万2千冊です。

高松市香川図書館



子育て応援コーナー

子育て応援コーナーは、2階児童図書コーナーの絵本コーナーの隣にあり、「育児Q & A」、「健康・病気」、「遊び・おもちゃ」、「食事・離乳食」、「ベビーウェア」などの図書を中心に約280冊を集めています。

◆職員より一言◆

お母さんが子育ての不安を一人で抱え込まないように、参考にできる資料を集めています。最近では、お父さんや祖父母を対象にしたものも増えてきています。少しでも悩みを解決できて、のびのび子育てができるお手伝いできればと思います。

おはなしのへや



絵本、紙芝居、あかちゃん絵本を置いています。絨毯が敷いてあるので、親子でゆっくり本が楽しめます。

みてみてえほんコーナー



2階入口近くに 있습니다。季節の絵本や行事絵本を集めています。

絵本コーナー



★高松市香川図書館行事案内★

●おはなし会を定期的開催しています。(対象：幼児から小学校低学年)

- ・「おはなしばんび」によるおはなし会
第2土曜日 14:00～14:30
- ・「おはなし紡ぎの会」によるおはなし会
偶数月の第1土曜日 11:00～11:30

* 3月以降のおはなし会以外の行事の予定については、お問合せください。

お問い合わせ先 高松市香川図書館 〒761-1706 高松市香川町川東上1865-13 TEL:087-879-8970

★おはなし会は、先着6組の親子が対象です。
＜3月のおはなし会の予定＞
・おはなしばんびによるおはなし会
3月13日(土)

<子育て支援担当より>

●子育て支援講座「子育てのヒントを学ぼう！～withコロナでももっと楽しく前向きに～」を開催しました！

1月16日(土)に香川大学助教・NPO法人親の育ちサポートかがわ理事の鈴木裕美先生をお招きして、非認知能力の育て方や子育てプログラム「トリプルP」を利用した子育ての方法などについてお話いただきました。

先生によると、子どものうまくできた事をほめるとき、「頭がいいね」「才能があるね」などとほめると、上手いかなかったときに、「自分は頭が悪い」「才能がない」などと思うようになるので、結果をほめるのではなく、頑張ったプロセスを具体的にほめる「前向きな言葉かけ」をするとよい、そこから、子どもがどうするべきかを学び、非認知能力を伸ばすことにつながるのとことでした。他にも、これからの子育てにすぐに活かして行けるヒントが満載の内容でした。